

平成28年度 第3回 習志野市いじめ問題対策連絡協議会 議事録

1 日 時

平成29年3月23日(木) 午後3時～午後5時00分

2 開催場所

習志野市教育委員会1階 大会議室

3 出席者氏名

出席委員:植松榮人委員(会長)、宮本泰介委員(副会長)、鮎川由美委員、鈴木竜也委員
藤原久生委員、高橋君枝委員、海寶嘉胤委員、増田美代子委員、伊藤 寛委員
(23名) 廣瀬 博委員、武田光広委員、松濱幸子委員、岡久郎委員、佐賀正栄委員
加川美奈子委員、柴 弘一委員、吉田勝幸委員、岩田 寛委員、赤松茂顕委員
田久保正彦委員、遠藤慎治委員、武田佳司委員、櫻井健之委員(敬称略)

欠席委員:福江 準委員、江口弘久委員 (2名) (敬称略)

出席職員:小熊学校教育部長、上原指導課長、足立主任指導主事、蓮・荻原指導主事

傍聴者 : 0名

4 協議会内容

1 開会

2 会長挨拶

3 副会長挨拶

4 講演「いじめ問題対策について」

千葉大学教育学部 教授、教育学部附属小学校 校長 片岡洋子 先生

5 議事

【議題1】平成28年度の取り組みの成果と課題

7 閉会

5 議事録(要点筆記)

開会

学校教育部長の宣言により開会

会長(教育長)あいさつ

会長

いじめに関する御感想や御指導を頂きながら、1年の反省をして新年度の協議のなかに活かしていきたいと考えますので忌憚のない御意見を頂戴したい。

今後も、いじめの問題と不登校の問題は教育課題として取り組んでいく。本日も、皆さんの御指導を頂きながら進めて参りたいと考える。また、いじめの問題に見識の高い、千葉大学

の片岡先生の御講演を頂けるということで、お話を聞きながら今後の取り組みに活かしたいと思っている。

副会長(市長)あいさつ

副会長

この会は青少年問題協議会が年1回の開催、このいじめ問題対策連絡協議会が年3回行われるなかでの、今年初めて行われる第3回いじめ問題対策連絡協議会となる。幼稚園、小・中学校、高校の卒業式に出席した。卒業生の凜とした姿に感動させられるのと同時に、私たち参列者の心が洗われていることを感じる。こういった気持ち全市民で共有できれば、いじめに関わらず、あらゆる問題が解消されるということを思った。それぞれ団体の総会の時期でもあるので、事業報告に本日の会に参加したということに記載していただきたい。そのことを通じて、各団体でも、いろいろな御意見が出るかもしれない。そのことも、連絡協議会の主旨であると考えている。

講演「いじめ問題対策について」

千葉大学 教育学部 教授、教育学部附属小学校 校長 片岡洋子 先生

- ・いじめ問題の社会問題化
- ・いじめ防止対策推進法について
- ・いじめに関する文部科学省の考え方
- ・いじめ追跡調査(国立教育政策研究所)について
- ・事例紹介
- ・性的マイノリティの人々への理解の必要について
- ・いじめ防止、人権教育を教育課程に位置づけることについて

議事

【議題1】習志野市のいじめの現状について

進行

習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針の規定に基づき、原則として公開としており、傍聴人及び報道機関への公開について報告がある。

習志野市いじめ問題連絡協議会設置条例第6条第1項により、会長が議長となることを伝える。

会長

事務局より説明。

事務局

議題(1)をパワーポイントのスライドにより説明。

会長

質疑応答の時間とする。

N 委員

平成28年度の取り組みの課題に地域との連携とあるが、具体的にはどのようなことを考

えているか伺いたい。

事務局

1000か所ミニ集会において、教職委員との共通理解を深める。また、学校評議員会において、いじめに対する取組みを協議していただくことを考えている。

N 委員

日頃から、地域としていじめの対策に何か役立てることはないかと考えているので、今後とも宜しくお願いしたい。

G 委員

学校評価のなかに、いじめ対策についての評価が書かれていない。学校評価については各学校できめているものなのか。

事務局

教育課程に関わる事項ですので各学校で決定している。

G 委員

認知件数について、アンケート頼りになっていないか。

事務局

アンケート実施前に、各学校へは指導しております。

G 委員

学校のいじめへの対応が遅いのではないか。

事務局

各学校での対応につきましては、教育委員会も支援、指導しております。

G 委員

各学校にどのように支援、指導しているのか。

事務局

各学期末に、指導主事が訪問し、各校の状況について確認しています。

G 委員

学期末では、遅いのではないか。

事務局

毎月の各学校の状況については、把握しており対応をしているところです。

G 委員

来年度は、教育委員会の支援について報告してほしい。

会長

教育委員会と学校との連携については、毎月1度の校園長会議や、会議後の連絡会において、情報交換しているところです。

T 委員

学校評価については、各学校で作成しています。各学校で重点とする目標が違うからである。また、各学校には「学校いじめ対策基本方針」があり、共通理解と見直しを図っている。

S 委員

本校では、アンケート調査で認知された事例について、対応を行った。仲間に対して要求する水準が高いため、受け取る側が耐えかねて記入したが、両者のケアによって解

消している。また、家庭環境などの違いから、お互いに身に付いているものが違うことを理解できず、伝え方も稚拙であったりということが原因となっている。さきほどの講演にもあったように、周囲の大人が気づき、支援し導くことで、生徒たちの成長を促せるものと考えている。

会長

保護者との連携が重要である。誰に相談するかというと、保護者が担任である。その両者の意が通じ合っていることが、いじめを解決していく根本であると考えている。平成29年度は、よりいじめが少ない学校にしていきたいと考えている。

A 委員

委員の私たちにできることは何かという思いで集まっていると思う。私たちの地域では、学校だよりを配布していただいている。学校の取り組みが伝わってくる。そのような地域に開かれた学校づくりという点では、参考にして頂ければと思う。

委員

平成29年度への取り組みについてのなかの「道徳教育の充実」について、とても喜ばしいことである。また、この3月に小・中学校の卒業式に参加したが、両校ともたいへん素晴らしい式典であった。児童・生徒が礼儀正しく行動し、先生もだいぶ若返ったが、きちんとした教育が行き届いているという印象を受けた。

E 委員

本年度の課題を、より明確にしてほしい。

副会長

この協議会は、連絡協議会であるということから、それぞれの団体が描くいじめ問題に対策する課題を享受する場であると考えている。また、次回の協議会では、いじめ問題対策で各種団体ができることは何かあるのかということを議題にして頂きたい。また、無記名アンケートについては、今後も小学生から高校生まで、幅広く実施して頂きたい。このいじめ問題は、人権にかかわる大きな問題であると思っている。いじめが根絶されることによって、市民それぞれが豊かな生活を送れると考えている。いじめは決して、子どもだけではなく、大人の世界にもある。しっかりと取り組んでいくことが大切であるということを本日の改めて認識した。

会長

もし、それぞれの地域で、いろいろとお気づきのことがあれば、お知らせいただきたい。また、平成29年度も間もなく始まる。皆様の御指導を頂きながら、習志野の子どもたちが生き生きと胸を張って登校できるような学校生活にしたいと考えているので、それぞれの御立場で御支援いただきたい。長時間にわたりありがとうございました。以上で、議事を終了する。

事務連絡

事務局

次回開催は平成29年7月21日(金)15:00に開催することを連絡する。

閉会

進行

宣言により閉会

6 所管課名

教育委員会学校教育部 指導課

電話番号 047-451-1132

FAX 番号 047-452-0771